

WHOに報告されたヒトの鳥インフルエンザ（H5N1）確定症例数

(2011年10月26日現在)

	2003年		2004年		2005年		2006年		2007年		2008年		2009年		2010年		2011年		合計	
	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数	症例数	死亡数
アセババジャン	0	0	0	0	0	0	8	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	5
バングラデシュ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0
カンボジア	0	0	0	0	4	4	2	2	1	1	1	0	1	0	1	1	8	8	18	16
中国	1	1	0	0	8	5	13	8	5	3	4	4	7	4	2	1	0	0	40	26
ジブチ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
エジプト	0	0	0	0	0	0	18	10	25	9	8	4	39	4	29	13	32	12	151	52
インドネシア	0	0	0	0	20	13	55	45	42	37	24	20	21	19	9	7	10	8	181	149
イラク	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2
ラオス	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
ミャンマー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ナイジェリア	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
パキスタン	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
タイ	0	0	17	12	5	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	17
トルコ	0	0	0	0	0	0	12	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	4
ベトナム	3	3	29	20	61	19	0	0	8	5	6	5	5	5	7	2	0	0	119	59
合計	4	4	46	32	98	43	115	79	88	59	44	33	73	32	48	25	52	28	568	334

注：確定症例数は死亡例数を含む。

WHOは検査で確定された症例のみ報告する。

平成22年度における国内高病原性鳥インフルエンザの確認状況

- : 家きん
- : 家きん以外の鳥類
- : 野鳥

＜平成22年＞
 12月 富山県高岡市（動物園のコブハクチョウ）
 ＜平成23年＞
 2月 兵庫県加東市（公園のコブハクチョウ）
 山口県宇部市（公園のコクチョウ）

＜平成23年＞
 3月 千葉県千葉市（2例）
 （2農場 約97,000羽）

＜平成22年＞
 11月 島根県安来市
 （1農場 約2万羽）

＜平成23年＞
 ≪大分県≫
 2月 大分市
 （1農場 約1万羽）

≪宮崎県≫
 1月 宮崎市（佐土原町）、
 新富町、都農町、川南町、
 延岡市（北川町）、
 高鍋町、宮崎市（高岡町）
 2月 高千穂町、都農町、
 門川町、宮崎市（高岡町）、
 延岡市（北浦町）
 3月 門川町
 （13農場 約102万羽）

≪鹿児島県≫
 1月 出水市
 （1農場 約8,600羽）

＜平成23年＞
 ≪奈良県≫
 2月 奈良県五條市
 （1農場 約10万羽）

≪和歌山県≫
 2月 紀の川市
 （1農場 約12万羽）

＜平成23年＞
 ≪愛知県≫
 1月 豊橋市
 2月 新城市
 （2農場 約17万羽）

≪三重県≫
 2月 紀宝町
 南伊勢町
 （2農場 約31万羽）

野鳥での確認事例 全16県

平成22年
 10月 北海道稚内市（カモの糞）
 12月 鳥取県米子市（コハクチョウ）
 鹿児島県出水市（ナベヅル）
 ＜平成23年＞
 1月 北海道浜中町（オオハクチョウ等）
 福島県郡山市（キンクロハジロ）
 兵庫県伊丹市（ホシハジロ・カイツブリ）
 鳥取県米子市（ユリカモメ・キンクロハジロ）
 島根県松江市（キンクロハジロ）
 高知県仁淀川町（オシドリ）

2月 北海道浜中町（オオハクチョウ）
 福島県福島市（コハクチョウ）
 栃木県宇都宮市（ハヤブサ）
 愛知県春日井市（ハヤブサ）
 京都府精華町（ハヤブサ）
 兵庫県西宮市（カンムリカイツブリ）
 鳥取県大山町（キンクロハジロ）
 米子市（ホシハジロ、ハヤブサ）
 出雲市（キンクロハジロ）
 島根県松江市（キンクロハジロ・ホシハジロ）
 山口県宇部市（キンクロハジロ）
 徳島県那賀町（フクロウ）
 長崎県長崎市（オシドリ）
 諫早市（ハヤブサ）
 大分県中津町（オシドリ）
 大分市（オシドリ、アオサギ）
 宮崎県諸塚村（カイツブリ）
 日南市（オシドリ）
 延岡市（ハヤブサ）
 宮崎市（ハヤブサ、オシドリ）
 鹿児島県出水市（ナベヅル）

3月 青森県三沢市（ハヤブサ）
 栃木県塩谷町（オオタカ）
 島根県松江市（キンクロハジロ）

家きんでの発生事例
 全9県 24農場 約185万羽

※ 現在、性状を検査して判明しているものについては、全てH5N1亜型（強毒）です。

感染危険因子

- **死亡鳥との直接接触** (OR= 11.0, 2.7-45.4)
 - **病鳥との直接接触** (OR= 9.2, 2.3-37.2)
 - 飛んでいる野鳥を見たり、元気な鶏類からの発症例はない
 - 院内感染はほとんどない（搬送者の感染発症もない）
 - 人から人への感染は極めてまれ（いずれも限られた家族内）
 - リンク不明例も稀にある
- **現状では鳥（動物）インフルエンザウイルスの稀なヒト感染**



パンデミック対策 = 感染症の危機管理としてさらに重要な こと

「**新型インフルエンザ**」だけでなく
「**インフルエンザ**」対策が**重要**

インフルエンザサーベイランスの強化

ヒトのインフルエンザ

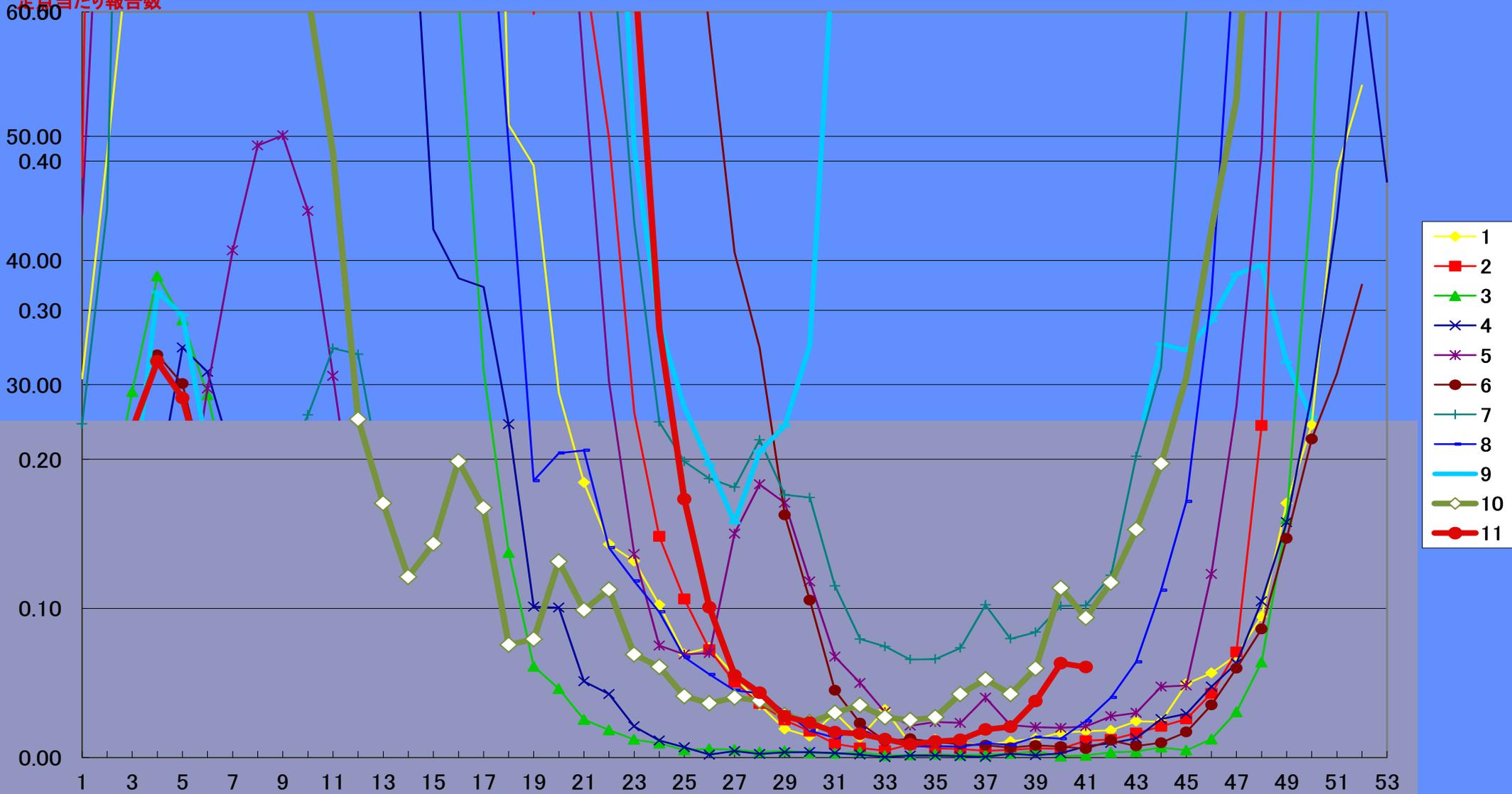
鳥（家禽・野鳥）のインフルエンザ

ブタのインフルエンザ

その他関連動物のインフルエンザ

インフルエンザの流行曲線

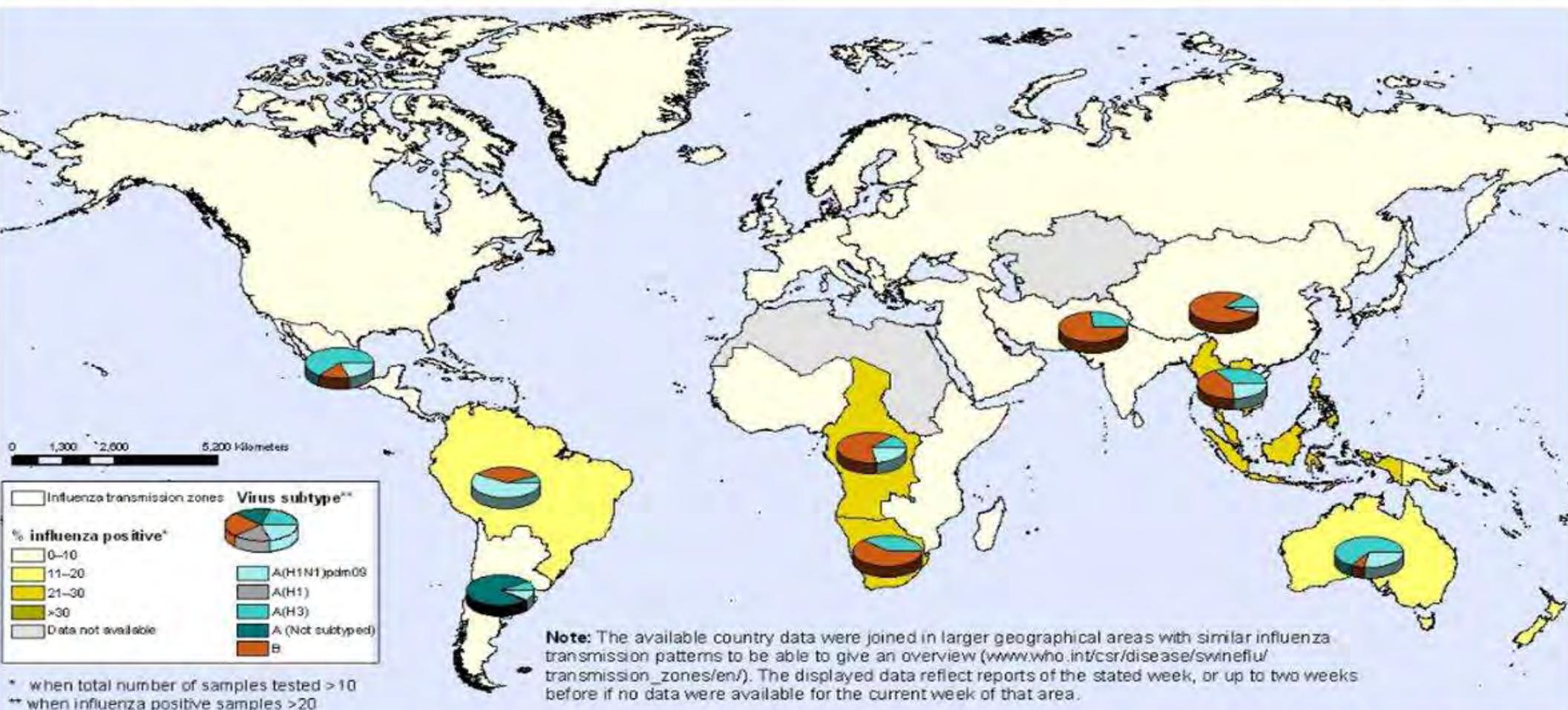
定点当たり報告数



2001~2011年第41週(10月10日~10月16日)現在まで

Percentage of respiratory specimens that tested positive for influenza By influenza transmission zones

Status as of week 40
16 – 22 October 2011



The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply the expression of any opinion whatsoever on the part of the World Health Organization concerning the legal status of any country, territory, city or area or of its authorities, or concerning the delimitation of its frontiers or boundaries. Dotted lines on maps represent approximate border lines for which there may not yet be full agreement.

Data Source: WHO/GIP, data in HQ as of 18 October 2011. Data used are from FluNet (www.who.int/flu-net), 9:24 UTC snapshot, from WHO regional offices and/or ministry of health websites.



World Health Organization

© WHO 2011. All rights reserved.



サーベイランスのためのデー
ター提供、登録
いつも
ありがとうございます
感染症情報センター一同



国立感染症研究所 東京・新宿区